

一人ひとりに寄り添った キャリア形成支援

流通経済大学



流通経済大学 就職支援センター
専任所員

太田 千秋



● 本学は、茨城県龍ケ崎市・千葉県松戸市の2つのキャンパス、5学部8学科5大学院研究科を擁する、学生数約5800名の中規模総合大学である。開学以来、実学主義・少人数教育・リベラルアーツ（教養教育）の重視を教育方針に掲げ、時代の変化と将来の方向性を見据えながら、広く社会に貢献できる有用な人材の育成を目指してきた。

従来からの高い就職率は本学の特徴であったが、2001年度以降徐々に就職率の低下傾向が表われたことをきっかけに、学生のキャリア形成を意識した全学的な取り組みが模索されることとなった。

全学的キャリア形成支援

2007年度より、全学的キャリア形成支援体制がスタートした。新入生や低学年のサポートを教育学習支援センター^{*}が、また進路選択や就職活動を就職支援センターが主に担当し、正課・正課外の両面から、学生のキャリア形成を支援する大学を目指しての刷新であった。

正課科目の導入

2007年度から正課科目として「キャリアデザイン」を開設し、その後、「キャリアマネジメント」「キャリアカウンセリング」等の科目も設置している。キャリア形成に関する正課科目は、企業勤務経験のある教員3人が主に担当しており、3科目の履修者数は両キャンパス合わせて年に2千人を超えている。

少人数ゼミ教育

● 本学では、全学生を1年次から4年次までゼミに所属させる小クラス担任制を実現しており、そのゼミ活動においても、担当教員が学生一人ひとりに対して、細やかな学業・進路についての個別指導を継続的に行っている。3年ゼミでは、就職支援体制の一環として「就職ゼミ長」制度がある。就職ゼミ長は、学生の立場で就職支援の各種行事についての連絡・報告を補完・強化するとともに、ゼミ内での就職に係るムードメーカーの役割を担っている。

オリジナルキャリア形成読本の作成

2011年度から低学年を対象とした「RКУキャリアガイドブック」を発行し、大学時代に醸成すべき力を「RКУ総合力^{**2}」として明示している。2012年度からは保護者向けの「就職活動のサポート読本」を発行し、好評を得ている。

就職支援

● 就職支援は、主に就職支援センターが担当している。支援内容の主なものには、学生への個別支援と、就職支援力イダンス・講座（2012年度実績26種類）、適性試験・模擬テスト（同7種類）、学内合同企業説明会（同16回）等の実施である。

このうち、学生へのきめ細かい個別支援が本学の特長である。本学では、3年生の6月に教員の協力のもと、ゼミの時間を利用してセンター職員が「就職活動の諸手続きガイダンス」を行い、学生個人の就職活動カルテ（進

路・就職登録カード）を作成してデータベース化している。

このカルテは、個々の学生の就活の進捗状況を詳細に把握するためのものである。履歴書・ESの添削相談や模擬面接などでのセンターへの来訪、個別企業説明会への参加、面接・採用試験の結果等の新たな情報が追加され、学生の学内ガイダンス・講座、学内合同企業説明会への参加状況、適性検査の結果等も加味している。

このカルテをもとに、学生の就職活動の進捗状況などを検討しながら、大学にきている求人等をタイムリーに紹介している。紹介に際しては、履歴書の添削や個別相談の際に得られる学生の性格やバックボンの情報も考慮し、企業の多様なニーズにマッチした学生を紹介することを心がけている。さらに就職活動中の学生に対しては、定期的に電話やメール・ハガキでコンパクトをとり、就職支援センターへの来訪を促すとともに、懇切丁寧な支援を図っている。

● 本学では、2013年度より正課において新しいキャリア形成支援力リキュラムをスタートさせる。今後正課・正課外の両面から個別支援・マスへの支援の両輪体制を有機的に機能させ、学生・社会の変化に合わせて内容・方法を柔軟に進化させることを目指していく。

^{*}1 教育学習支援センターでは、すべての学生に学びの機会を高め、より充実した学生生活を過ごしてもらうために、学部・学生相談室をはじめとする関係機関と綿密に連携をとりながら、学生のキャンパスライフの全面的なサポートを行っている。
^{**2} RКУ総合力として「三つの力」学ぶ「チャレンジする」「つながる」を挙げている。